

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス

2023年9月8日

PPIH、医療機関への寄付に対して紺綬褒章を受賞

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(本社:東京都目黒区、代表取締役社長 CEO:吉田直樹)は、2022年12月に行った国立研究開発法人国立成育医療研究センター(以下、国立成育医療研究センター)への寄付に対し、紺綬褒章に係る褒状を2023年8月26日に授与されましたのでお知らせします。この寄付金は、国立成育医療研究センターにおいて研究のために役立てられます。

紺綬褒章は、国、地方公共団体又は公益団体(公益を目的とし、法人格を有し、公益の増進に著しく寄与する事業を行う団体であって、当該団体に関係の深い府省等の申請に基づき賞勲局が認定した団体)に対する寄付が授与の対象となります。

国立成育医療研究センターへの寄付は、当社社員の家族が、日本初となる最先端治療を受けたことを当社が知ったことがきっかけでした。また、他の複数の従業員の子どもも同センターにお世話になっております。当社は、同センターの笠原群生病院長および同センターの方々が、子どもたちの命を救うため献身的に尽力される姿から、難病治療中の子どもたちへの最先端医療の提供と共に、医療従事者による難病の子どもたちへの精神的なケアの重要性を学びました。当社は、子どもの人権、生命の尊重は、ダイバーシティ推進の根源的な要素の一つであると考えます。

難病の子どもは全国で12万人以上^{*}とされています。さらなる医学研究の進歩により、より多くの子どもが健康に暮らせる社会の実現を願い、国立成育医療研究センターへ寄付を続けております。

当社グループは、持続可能な社会・医療環境の実現に向けて、そして難病と闘う子どもおよびその家族の笑顔のため、今後も医療機関への支援活動を行ってまいります。

※2022年3月『小児慢性特定疾病児童とその家族の支援ニーズの把握のための実態把握調査の手引き書』の小児慢性特定疾病医療受給者証数より

■一般の方のお問合せ先

HP<<https://www.donki.com>>の「ご意見・お問い合わせ」フォームをご利用ください。